



CONTENTS

●第35回ジャパン建材フェア「住まい方・暮らし方コーナー」で案内…p.1

●平成27年度補正予算、平成28年度予算・税制改正からピックアップ／「●第18回 東京ジャパン建材会 総会」…p.2

●トップ対談…p.3

●ジャパン建材プレカット受注システムによるご提案…p.4

●J Kサポートセンター NEWS…p.5

●商品情報

●Bulls 情報：第35回ジャパン建材フェア Bulls コーナー情報／イチ押し Bulls

●HDJ & HDP

●地域活性隊

●合板天気図

第35回ジャパン建材フェア 住まい方・暮らし方コーナー

3月18日〔金〕・19日〔土〕東京ビッグサイト 東展示棟1・2・3ホール

会場 MAP



ジャパン建材 × 建築知識ビルダーズ タイアップ企画第3弾

「永く住まう」

当コーナーは、一人ひとりが思い描く理想の住まいと夢の暮らしについて考えていただく場です。今回は、建築専門雑誌『建築知識ビルダーズ』とのタイアップ企画第3弾として、「永く住まう」をテーマに住まいづくりのレシピを紐解いていきます。

「永く住まう」ための住まいづくりには、暮らしが変化しても間取りを変える必要のないプランを考えることが大切です。

第3弾は、伊礼氏が設計し、荻野氏が造園を施した「高岡の家・もみじ」を再現します。

今回の見どころは、「階段を中心とした永く暮らしやすい間取り」です。また、「暮らしに豊かさをもたらす庭」や「家の内部と外部をつなぎ、心地よさを感じる開口部」も引き続きご体感いただける展示をします。



「高岡の家・もみじ」 設計：伊礼智設計室 施工：ミヤワキ建設

「永く住まう」ことを目指してつくりあげた両氏のアイデアや手法を、是非ご覧ください。

特別セミナー開催 !!

建築家 伊礼智氏と造園家 荻野寿也氏による特別セミナーを開催いたします。東展示棟3ホールの「快適住実セミナー会場」までお越しください。



建築家
伊礼 智 (いれい さとし) 氏

3/18 〔金〕12:30 - 13:30
3/19 〔土〕12:30 - 13:30



造園家
荻野 寿也 (おぎの としや) 氏

3/18 〔金〕14:00 - 15:00

皆様のご来場を心よりお待ちしております。

第1弾 「くつろぎの風景」

豊かな暮らしを送るうえで「くつろぎ」は欠かせない大切な要素です。

2014年にグッドデザイン賞を受賞した『守谷の家』を再現し、造園も施した展示をすることで、内部と外部のゆるやかな繋がりが生み出す心地よさをつくりあげました。

周辺環境を活かして心地よい住まいを生み出す伊礼氏と、庭によって住まいをより美しく見せる荻野氏の両氏が生み出す「くつろぎの風景」を体感していただきました。



第33回ジャパン建材フェアにて展示

第2弾 「性能の先の心地よさ」

「良い家とは決して性能だけではない。その先にある、家本来の住み心地こそが大切である。」という伊礼氏の考えのもと、同氏の「住宅設計のひとつの解」とも言える『つむじ i-works2015』を再現しました。

第1弾で表現した家と庭の繋がりに加え、開口部や階段などの納まりも再現することで、性能と心地よさを両立した心地よい住まいの設計手法をご紹介します。



第34回ジャパン建材フェアにて展示

平成 27 年度補正予算、平成 28 年度予算・税制改正からピックアップ

平成 27 年度補正予算、平成 28 年度予算や平成 28 年度税制改正が各省庁より発表されました。住宅政策については、国土交通省や経済産業省より発表がされています。本記事では、住宅に関わるもののいくつかをピックアップしました。継続事業に対する拡充や、新規事業の創設など、情報を整理して上手に活用しましょう。

住宅政策への取り組みをジャパン建材は支援いたします。

長期優良住宅化リフォーム推進事業の拡充

※赤字が拡充、創設部分

【対象】

- ①インスペクションを実施すること
- ②下記の支援対象となるリフォーム工事を行うこと
 - a) 劣化対策 b) 耐震性 c) 省エネルギー対策 d) 維持管理・対策の容易性
 - e) 高齢者等対策（共同住宅のみ） f) 可変性（共同住宅のみ）
 - g) **三世代同居改修工事**
- ③住宅履歴の管理、維持保全計画書を作成すること
- ④リフォーム工事後に少なくとも a) 劣化対策、b) 耐震性の基準を満たすこと

【補助限度額】

S 基準：200 万円 / 戸 A 基準：100 万円 / 戸

※三世代同居改修工事を含む場合は、S 基準：250 万円、A 基準：150 万円 / 戸を限度額とする。

ただし、三世代同居改修工事については 50 万円 / 戸を上限とする。

平成 28 年度税制改正 住宅税制優遇

※赤字が拡充、創設部分

住宅の建築に関する税制優遇について、延長が決定したもの・創設が決定したものがああります。

下記表にて簡単にご紹介いたします。

新 築	固定資産税		H30.03.31 まで 延長
	長期優良住宅	所有権保存登記	H30.03.31 まで 延長
		所有権移転登記	H30.03.31 まで 延長
		不動産取得税	H30.03.31 まで 延長
		固定資産税	H30.03.31 まで 延長
リフォーム	固定資産税	耐震	H30.03.31 まで 延長
		バリアフリー	H30.03.31 まで 延長
		省エネ	H30.03.31 まで 延長
	所得税	三世代同居	投資型減税 H31.06.30 まで
		ローン型減税	H31.06.30 まで

第 18 回 東京ジャパン建材会 総会

第一部 講演会

演題『宇宙、人、夢をつなぐ』



講師
宇宙飛行士
山崎 直子 氏
(やまざき なおこ)

略歴

1999 年 国際宇宙ステーション（ISS）の宇宙飛行士候補者に選ばれ、2001 年に認定される

2004 年 ソユーズ宇宙船運航技術者の資格を取得

2006 年 スペースシャトル搭乗運用技術者資格を取得

2010 年 4 月にスペースシャトル・ディスカバリー号で宇宙へ。ISS 組立補給ミッション STS - 131 に従事

2011 年 8 月に JAXA を退職

宇宙ステーションに赴くまでの経緯と、それまで夢を持ち続けたこと、また先人たちが夢を強く持ち続け、けっして諦めなかったことが現在の宇宙ステーション実現につながっている。夢をもち、夢に向かって努力を続けていくことの大切さ。宇宙でミッションを遂行するにあたって強く感じた、相手の立ち位置に配慮した言葉の大切さ。宇宙から地球を見て感じた、立ち位置によって物の見え方、見方は変わるということなど。私たちの日常生活や、経営にも通じる大切なことをお話いただきました。

第二部 総会

【副会長挨拶】
株式会社コバヤシ
代表取締役社長
池田 昭義 様

我々の業界は、大変な環境変化の時代に入っており、これに対応していく新たな取組み、チャレンジ、発想の原動力となる好奇心をもって世界を広げ、引き出しを増やし、東京ジャパン建材会の若返りを象徴する新会長と共に、さらなる躍進に向けて努力したい、と挨拶されました。

【開会の辞】
副会長
株式会社カナモク
代表取締役会長
小栗 利夫 様

【閉会の辞】
副会長
株式会社トーイツ
代表取締役会長
沼田 允利 様

【JK ホールディングス株式会社挨拶】
株式会社ノダ
代表取締役社長
青木 慶一郎

女性営業担当の育成、海外で活躍する外国人の積極的な採用、お客様サポート機能をソフト面からさらに充実など、JK ホールディングスグループが能動的にお客様と一緒に必要創出の努力を続けている事例をご紹介し、皆様のご支援・ご愛顧をお願いしました。

【賛助会員代表挨拶】
株式会社ノダ
代表取締役社長
野田 章三 様

再増税後の新築住宅着工数が落ちることが予想され、その対応策として非住宅分野、リフォームや住宅改修分野の需要を盛り上げていくメーカー責任は重いと考える。その観点からも、本日出席の皆様とメーカーが力を合わせて 3 月の「第 35 回ジャパン建材フェア」を盛り上げていきたい、と心強いお言葉を頂きました。

【ジャパン建材株式会社挨拶】
代表取締役社長
小川 明範

平成 28 年度から中期経営計画をスタートさせ、「ダントツ！ジャパン」の夢を実現したい。その鍵は、より多くの視座をもち、コミュニケーションを深め、皆様と一緒に身近なところに埋まっている宝探しをして磐石な皆様方との共存共栄体制を創り、皆様方に選ばれるパートナーとなるべく努力を続けていきたい。新年の抱負を述べ、ご指導・ご鞭撻を願いました。

平成 28 年 1 月 15 日ホテルニューオータニにおいて、29 支部を擁する東京ジャパン建材会会員様・賛助会員様など、総勢 698 名が参加して平成 28 年度総会・懇親会が開催されました。



東京ジャパン建材会会長に就任 株式会社シノザキ 代表取締役社長 篠崎 務 様

篠崎新会長の力強い乾杯のご発声で懇親会がスタート

光和物産 株式会社

【会社概要】

本社：広島県福山市南本庄 2-12-27
設立：1951（昭和 26）年
資本金：4,000 万円
年商：83 億円（単体）
従業員数：83 名（単体）

1910（明治 43）年 内海康仁氏の祖父、内海源助氏が、広島県沼隈郡松永町（現・福山市）で木履製造販売「内海商店」を創業。1946（昭和 21）年に康仁氏の父、内海得治郎氏が二代目代表に就任。1951（昭和 26）年、下駄の輸入原木を扱う部門を光和物産株式会社とし、分離独立。その後、事業分野を建材販売、さらに杭打ち工事、ALC 工事、サッシ工事、合成樹脂原材料等の販売へと拡大。地域ナンバーワンとして「お客様のオンリーワンの満足」実現に邁進している。

トップ対談

代表取締役社長

内海 康仁 様

うつみ やすと

【プロフィール】

1950（昭和 25）年 広島県福山市に生まれる
1973（昭和 48）年 慶應義塾大学商学部卒業
1975（昭和 50）年 光和物産株式会社に入社
1995（平成 7）年 同社代表取締役社長に就任
2009（平成 21）年 JNET 中国株式会社を設立、代表取締役に就任
2010（平成 22）年 広島ジャパン建材会会長に就任、業界活性化にも寄与



地域社会に貢献し、お客様に笑顔と喜びをお届けできるよう社員一丸となって日々がんばっています。

製塩業から派生した下駄産業

小川 まず、ご創業の頃からのお話をお聞かせいただけますでしょうか。

内海 昭和 26 年に私の父が光和物産株式会社としてスタートしたときから数えると、私は二代目、創業まで遡ると三代目です。私の祖父が、合併されて今は福山市になっている旧沼隈郡松永町で下駄の製造・販売業を始めたのがそもそもの始まりで、後に製塩業も営んでいました。

小川 下駄と塩、不思議な関係ですね。

内海 松永町は、江戸時代に藩主水野氏がこの地に塩田を造って「松寿永年」と命名されたのがその始まりで、塩の産地でした。塩を北前船で運んで戻る船にバランスをとるための重りとして丸太を乗せて帰り、その木は薪などに利用されていました。

明治時代になって、その中にあった軽くて木肌が白いアブラギが下駄に適しているというので丸山茂助さんが安価な下駄の製造を始めたことが松永の下駄産業の始まりです。祖父は、そこで勉強させてもらって独立しました。

小川 塩と下駄にそのような繋がりがあったとは知りませんでした。

内海 その後、アブラギが不足すると、センを使うようになり、戦前、祖父の代には北海道に工場をもって道材を材料に下駄を製造していました。

小川 北海道に所縁がおりなのですね。

内海 かつては日本の下駄の 6 割、昭和 30 年代初頭のピーク時には年間約 6500 万足の普段履きの下駄を作っていました。

小川 昭和 39 年の東京オリンピックの頃の日本の総人口が約 9800 万という数からしても、凄い生産量ですね。

内海 福山市の「福山琴」、隣接する府中市の「家具」もあり、木工が伝統的な地場産業でしたが、下駄産業の成り立ちは少し事情が違ってきます。

旧段谷産業さんの前身も戦前には下駄を製造されていてね、祖父の代には原木のやり取りをしていた時期もありました。その後、段谷さんには合板を始められたので、父が、祖父に言われて工場見学にも行ったそうです。その頃から下駄製造の方たちが家具製造や合板製造など、いろいろな形で業種転換をされたのですが、当社はその後下駄一筋でした。

戦後は道材を求めることが難しくなり、加工がしやすい、コットンウッド（泥柳丸太）を米国から直輸入する商社部門を内海商店の中に立ち上げ、この部門を分離独立して設立したのが光和物産です。

建設資材、工事機能をプラス

小川 昭和 26 年が第二のご創業ですね。

内海 はい。父は、旧制東京商科大学（現・一ツ橋大学）を出て、三菱鉱業（現・三菱マテリアル）に入社しましたが、1 年ほどで軍に召集されました。

戦後は、こちらに戻って内海商店を改組して株式会社とし、広島木履工業を設立しました。その材料調達だけでなく、下駄製造に携わる同業の方々にも直輸入した材料を販売する会社として光和物産を設立しました。ところが、間もなく県会議員を務めることになり、議員引退までの 12 年間は商売に全力を傾注することはできませんでした。

その後、本格的に商売に取り組んだのは昭和 38 年です。その頃には徐々に下駄製造は下火になっていましたので建材の扱いに力を入れはじめたのですが、父は、相場場で動く材木の扱いを嫌い、当社の建材は色物からスタートしています。

小川 合板の扱いはいかがでしたか。

内海 家具の府中で筆筭材の台板としての

需要も多く、品揃えが必要ということで、当初から合板のウエイトは高かったです。

私が子供の頃は、建材店さんや工務店さんが当社の倉庫へトラックで来られ、必要な建材を運んで帰られる卸売でした。その後、お客様に当社から納品する形になり、さらに現場納品へ、このほか壁の施工や、一部住器の取り付けなどの工事も手がけるようになりました。

小川 そうした工事機能をもたれたのは、いつ頃からですか。

内海 旧日本鋼管の福山製鉄所第一高炉に火入れされたのが昭和 41 年。ここは全て埋立て地ですから、製鉄所建設関係の基礎工事のためのパイルを扱っていた縁で工事を手掛けたのがスタートです。

小川 早い時期に立ち上げられたのですね。

内海 その後は山陽新幹線の工事もあり、今も基礎工事は、西日本でトップクラスのシェアをいただいています。

デフレの 20 年間とともに

小川 社長ご自身は、大学を卒業されて 2 年間、他社にお勤めされたのですか。

内海 石油精製会社のアジア石油（現・コスモ石油）の本社経理に入社し、最初は横浜工場で日勤夜勤を 3 か月ほど経験して本社経理に戻り 2 年間お世話になりました。

こちらに戻ってみると、1974 年の第一次オイルショックの煽りで毎月のようにお取引先の倒産が続出していて、その処理に追われる毎日でした。そうこうするうちに 1978 年には第二次オイルショックが起きてね。私が大学在学中には当社独自の販促キャンペーンで韓国旅行や台湾旅行に招待していましたが、私が戻ったときには、そういう企画は姿を消していました。

小川 世の中の変化は恐ろしいほどに早いものですね。

内海 それに似た状況が 1987 年～1990 年のバブル経済崩壊前で、ピーク時には年商 122 億円までいきました。

小川 第一次オイルショック後の景気後退期に戻られ、さらに第二次オイルショックと続き、債権回収の陣頭指揮に当たられたのですね。入社当初は大変な思いもされたでしょうが、一方で好況感に沸いた時代も経験されたということですね。

内海 そうですね。売上がピークを記録した時期には、「将来は年商 150 億円、従業員 100 名体制」と豪語していましたが、1990 年のピークを境に減少の一途を辿り、リーマンショックで一時は 60 億円台まで落ち込んだのを 80 億円台にまで戻し、何とか踏みとどまっている状況です。

小川 大手企業で経理を経験されたことが、その後の計数管理におおいに役立ったのではありませんか。

内海 はい、良い勉強をさせていただいてありがたかったです。

小川 内海社長が二代目に就任されて平成 27 年で 20 年間ですね。バブルが弾けて「デフレの 20 年」と重なる時を駆け抜けてこられた印象はいかがですか。

内海 あまり良い思いをすることはありませんでしたが、消費税増税前の駆け込み需要でプチバブルを経験し、リーマンショックでは打撃を受けました。

ここに来て、リーマンショックの後、工事や設備更新への投資をずっと我慢してこられた企業が、「アベノミクス」でようやく動きはじめています。その影響で非住宅関係が動き、当社に関係のある機械基礎や、建屋基礎の仕事も出てきています。

もうひとつは、岩国の米軍基地で大規模な隊員宿舎の仕事も継続して出ています。当社は 10 月が決算ですが、ここ数年は過去 20 年間で最良の時期という印象を受けるほ

どです。

小川 特に好調なのは、どの部門ですか。

内海 年商 120 億円のピーク時に比較すると、建設部門と建材部門の構成比は逆転していますが、好調なのは建設部門です。

因みに前期年商 83 億円に占める建材部門の売上は 53%、杭打ちを中心としたゼネコン・建設会社向けが 36%、化成部門が 10%でした。

同業者 4 社が、お客様をサポート

小川 平成 21 年に設立された「JNET 中国株式会社」についてお聞かせください。

内海 これは、山口の三和さん、広島のスガノさん、岡山のウッディワールドのさきさん、福山の当社、この建材販売 4 社で設立した会社で、工務店様・ビルダー様へ情報発信をしていくネットワーク事業を展開しています。そのサイト名を『エコ・セ・トラ』とし、私が初代社長に就任しました。

小川 『エコ・セ・トラ』とはどういう意味ですか。

内海 地域に密着した工務店様、ビルダー様と末永く地域社会に貢献し続ける仲間が力を合わせていくことと、「環境に優しく（エコロジー）、安全（セーフティ）で瀬戸内（セト）に合った住生活（トータルライフ）を、さまざまな（エトセトラ）視点からご提案する。」というコンセプトを表現しています。

小川 当社の JK サポートセンターと同じような工務店様支援をすでに事業化されているということですか。



内海 一番の収益の柱になっているのは、「認定品質住宅」の会員様に講習を受けていただくことにより基礎の配筋検査が自主検査でき、かつ「瑕疵保険の割引」が受けられるというものです。これを他地域にも広げて近畿地区、東海地区、北陸地区でも、それぞれのサイトが立ち上げられています。

小川 興味深い取組みですね。

座して動かざれば、死を待つのみ

小川 新設住宅着工戸数が 10 年後には 60 数万戸になると言われていますが、足元を見ると、平成 27 年は暦年ベースで 91 万戸～92 万戸、平成 28 年は 94 万戸～95 万戸という予想もされています。

内海 昨年末、お客様の忘年会に参加した折、私も「消費税が再増税される平成 29 年の春までは大丈夫、その間はしっかり頑張って売上を伸ばして体力をつけ、平成 29 年 4 月以降を共存共栄で乗り切っていくための知恵を出してチャレンジしていかなければいけない」と話をしました。

当地、福山地区だけをみても、マンションはまだ新しいのでリフォームがなされていませんし、そのノウハウもまだないようです。マンションの一戸ごとにリフォームすることになれば、従来はマンション 1 棟で考えていた施工単価の考え方も変えていかなければいけません。売上額ではなく、適正な利潤を頂くにはどうすべきか。職人さんを確保するためには、コンスタントに仕事を出し、光和物産についてくれる環境を整えていく必要があると思います。

小川 売上構成比については現状を維持していくことをお考えでしょうか。

内海 さらに建材部門を伸ばしていく必要があると思っています。2020 年の東京オリンピック・パラリンピックまでは需要は東京一極に集中するでしょうから、地方の私たちは、需要が縮小した後の新設住宅着工戸数 60 万戸台をベースに考えていくのが妥当だと思います。

小川 建材部門の成長に向けた取組みとして、一つは「リフォーム・リノベーション」、もう一つは「文教・老健施設などの非住宅における構造および内装の木質化」があると思います。そのあたりに商機を見出していらっしゃる方もすでにいらっしゃいますが、内海社長の将来に向けたビジョンはいかがでしょうか。

内海 当社の建設部門は、すでに非住宅を対象としています。そこには水廻り設備機器をはじめ、コピー機などの OA 機器も必要になるだろうと、当社は OA 事業部門ももっています。そういった横展開のできる品揃えをしていくことが非住宅対応、さらに住宅向けにも必要だと思います。

福山市は四国との物流のための流通団地の整備等、また学校関係建物の耐震化も進められています。福山の人口は 47 万人で子供の数は減っているのに小学校は 78 校、中学校は 36 校もあります。これを集約して教育環境を改善するために小中一貫校と、小学校数校と中学校が連携する形の整備が平成 27 年 4 月によくスタートしました。その結果、校舎の整備や、廃校になった建物を公共的な施設として再利用するための需要も出てきています。

小川 老健施設に関してはいかがですか。

内海 この地域での数は増えていますが、現在は住宅向けで活躍しているプレカット担当もおりますので、木構造非住宅の受注につなげる取組みを進めているところです。

小川 余談になりますが、米国には CCRC というシステムがあります。これは支援や介護が必要になってから入所する日本の老人ホームと違い、介護が必要になる前に同じような年齢・趣味・志向の合う人たちが集まって楽しめるコミュニティを作ろうというものです。いずれ介護が必要になれば医療やサポートも受けられる、前向きな終の棲家の考え方が 1970 年代から始まり、すでに全米に 2000 箇所もあるそうです。私たちは一流通業者ではありますが、そういう住まいや生き方の提案もしていくことも大事ではないかと思います。

内海 確かに都会にはそういうニーズは多いかもしれませんが。地方も核家族が増えてきていますので、もしかしたら今後はそうしたニーズも出てくるかもしれません。

小川 私たちは、これまでどちらかというところの面から目をむけがちでしたが、ソフトの面からの提案も含めて取り組んでいかなければいけないのではないかと、また、そういったところから新たなビジネスチャンスが見出せるのではないかと思います。

内海 異業種交流も含め、いろいろとチャレンジして知恵を出して、建材という従来の枠から脱却して、住宅にも非住宅にも必要とされるものを意欲的に取り込んで独自のビジネスを構築してチャンスをつかむしかないと思います。まさに知恵と知恵の戦いですね。そういった知恵や、具体的など提案をジャパン建材さんからいただけることをおおいに期待しています。

小川 本日は、過去から現在まで紡いでこれながら、変化していく勇氣をもって取り組んでいらっしゃる貴重なお話を聞かせていただきありがとうございました。

私たちジャパン建材も、ハードとソフト両面から、お客様ののご要望に則したご提案ができるよう努めてまいります。

在来軸組のワンストップシステムを構築 ジャパン建材プレカット受注システムによるご提案

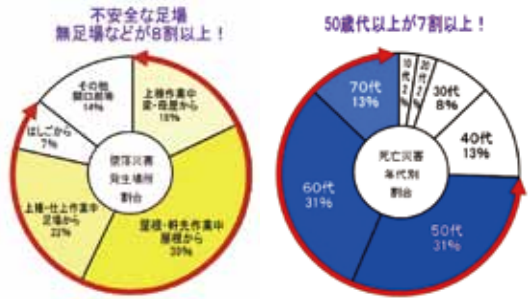
〔新しい上棟工法・TB上棟システム 21 を採用〕
『背景となる職人不足・上棟工事の墜落災害発生状況』

木造軸組工法の上棟工事は、熟練技能を持った大工職の世界で、重労働かつ高所作業による危険も大きい。そのため、若者は敬遠しがちで女性も容易に働ける条件ではありません。

この常識を覆すため、ジャパン建材プレカットが採用したのが「TB 上棟システム 21」であります。TB 上棟システム 21 は「中小企業新事業活動促進法」に基づき、「安全性を重視した効率的な新しい木造軸組工法の開発と事業化」として、平成 24 年 2 月 3 日付で経済産業省より「新連携計画」の認定を受け、厚生労働省、労働局、労働基準監督署等行政や木造軸組業界からも注目されています。

上棟工事は、危険と隣り合わせの仕事です。平成7年に労働省より「足場を設置してから上棟作業を行う」旨の安全基準として、「足場先行工法に関するガイドライン」が通達されてから死亡災害数は減少しているが、今も工事別死亡災害発生率が最も高い状況です。しかも、上棟工事は重労働化しています。

木建現場の実情



安全規制強化で仮設足場(クサビ足場)の部材数は増加し、耐震性重視の風潮から建物の構造材そのものも重量化しています。

ところが、敷地が狭くてクレーンが入れず、運搬作業や上棟作業を人力に頼るケースも多く、さらに、現場周辺の住民に対する配慮も近年ますます重要になっています。

また、大型クレーンや運搬トラックによる騒音や排気ガスもトラブルのもとになります。

その一方で、仕事に必要な技能の習得は、OJT中心の昔ながらのやり方に留まっています。これらの問題や課題が、ますます大工・鳶職人のなり手を遠ざけ、職人の高齢化は進む一方です。

プレカット・足場・クレーン・フレーミングをオールインワンで提案

このような背景より、職人不足および高齢化は在来軸組工法の上棟現場にも影響が出始めています。上棟時に職人が集められない、高齢化に起因する上棟時の落下事故などがそれである。ジャパン建材ではプレカット専任担当者が、販売店・工務店様へ、自社 CAD システムから建て方までを包括的に提案しています。今回は人手不足・安全管理不足を解決に導く TB 上棟システム 21 についてご紹介致します。

構造及び羽柄材プレカット・足場・クレーン・
フレーミング(建て方)工事の包括提案

1: ジャパン建材プレカット受注システム

ジャパン建材ではプレカットにおいて、自社でCADを入力し、迅速な見積りの提出や打合せなどの対応をすると共に、TB 上棟工事の提案も行っております。

[組立付構造部材販売]

2: 職人不足の対応策 **新しい発想に基づく専門職の開発**

=TB 多能工システムフレーマー(TB-SE)による

安全で作業効率の良いTB上棟工事の提案＝
自ら仮設計画、工程計画と見積書を作成し、商談・受注業務と事前打合せを行い、4面先行足場を設置します。そして、構造材荷受け作業、住宅用電動クレーン(ドラゴン 21)を自ら操作して、上棟作業までの一連の作業を担います。
単に「足場を組むだけ!」「クレーンを動かすだけ!」と言った従来の職種枠を超えて、複数の作業をこなす文字通り多能工であります。

3: 上棟工事の重労働・危険作業を排除するための工夫

[機材の開発]

- ① 超軽量クサビ足場「BK足場」の開発
強度をそのままに従来品より35%もの軽量化に成功した業界初の画期的な部材です。
- ② 4面先行足場用水平ジブクレーン「ドラゴン 21」の開発
- ③ 超狭小地現場用手動走行リフトとして「TBガーダーリフト」の開発
4面先行足場に直接設置するため安全です。手組み上棟ゼロを実現！



TB ガーターリフト



超軽量BK足場

4: 新しい上棟工法の開発

- ① 上棟工事の安全性・作業性・生産効率・足場強度を重視し、足場先行工法に関するガイドラインの最先端の安全基準を満たす、「完全4面上棟用先行足場」「先行メッシュシート」の開発。安全・安心な風荷重対策として、「二側ブラケット足場」「根入れジャッキ」「十字頭つなぎ」の補強を標準採用。「超狭小地用二本組足場」は、狭小地の先行足場に対応。
- ② 新しい構造材搬入方法
立体的屋台方式による「TB荷受架台工法」によるTB上棟工事の開発
4面上棟用先行足場が設置可能。多能工フレームーの安全性、作業性の向上。
先行メッシュシートが設置可能。(近隣配慮)
スライド安全ブロック式ハーネス上棟が可能。(墜落防止対策の徹底)
- ③ 4面先行足場用水平ジブクレーン(ドラゴン21)による構造材が、足場や電線の上を越えない安全なクレーン作業と無音・無臭による近隣配慮の徹底。

プレカットで構造躯体の安全性を提案すると同時に、現場の敷地調査等により上棟作業計画書を作成致します。プレカット部材の荷受け作業計画、仕上げ工事などの作業に合わせた足場の変更計画など、建て方の包括提案は現場の作業をスムーズにするだけでなく、コンプライアンスを順守した安全を標榜しています。

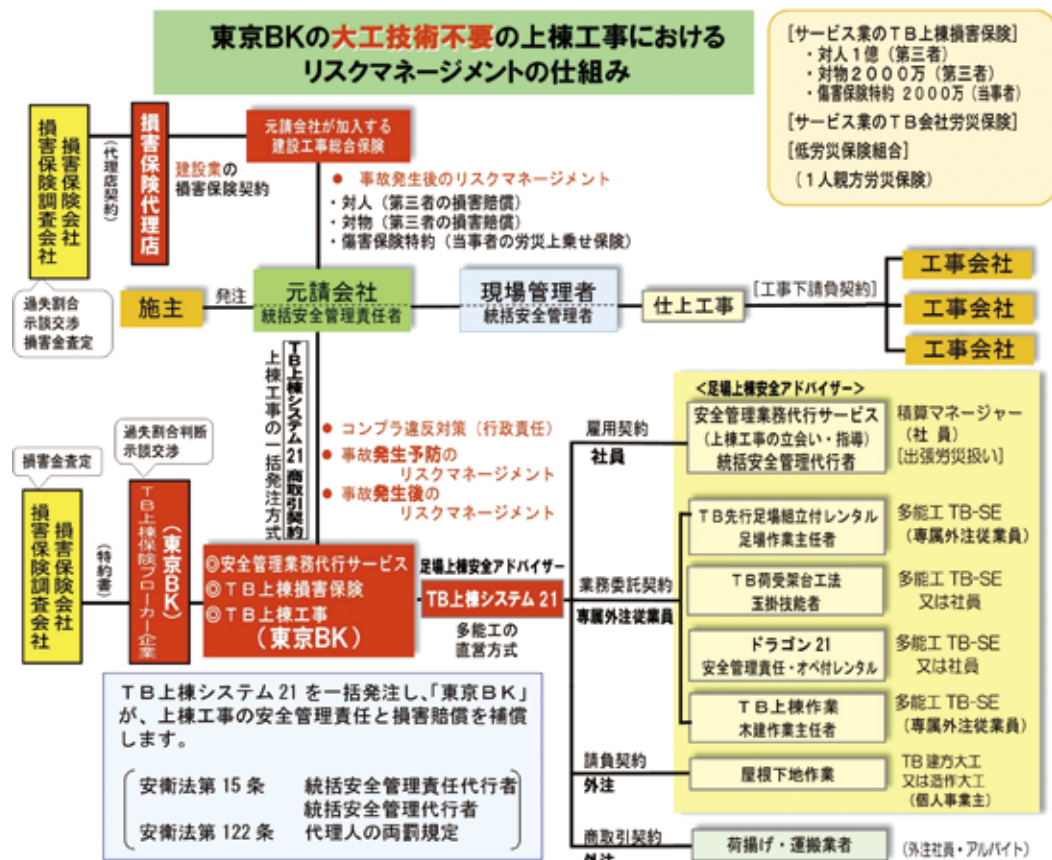


5. 上棟工事におけるリスクマネジメントの仕組み！

- ① TB上棟システム21の商取引による一括発注方式は、「東京BK」が上棟工事の安全管理責任と損害賠償を補償します。

安全衛生法第15条 統括安全管理責任代行者
統括安全管理代行者
安全衛生法第122条 代理人への罰規定

- ② 足場・上棟安全アドバイザーとTB上棟保険ブローカー企業の東京BKの「上棟工事の安全基準」は、リスクマネージメントに対応するため、行政（労働基準監督署）の指導基準を上回ることを目指しています。
- ③ 1業種・1職種・多能工・少人数の共同・同一作業により、危険な混在作業のない安全な上棟工事を行います。
- ④ 元請会社と被害者との示談交渉に立会い、過失割合を判断し、事故発生後のリスクマネージメントに対応します。
- ⑤ コンプラ違反対策は、東京BKも行政責任を負うため、行政処分の対応処理、監督署等への「同行立会い」を行います。



3月18日・19日 第35回ジャパン建材フェア（東3ホール **A-24** 木構造ゾーン）にて
実大躯体によるデモンストレーションPRを行います。ご来場お待ち申し上げます。 木構造事業部 プレカット課

お知らせ JK Support Center

ジャパン建材株式会社 JK サポートセンター

TEL：03（5534）3713 FAX：03（6738）8917

中小工務店さま向け
「省エネ基準講習会」
好評開催中！



JK サポートセンターは、国土交通省「省エネ住宅・建築物の整備に向けた体制整備」の補助事業受託により、1月16日の広島会場を皮切りに全国44会場で開催しております。省エネ基準の説明および当社の支援内容をわかりやすくご説明し、全国の工務店さまに向けてH25年省エネ基準の適合を積極的にサポートしてまいります。詳しくは、ジャパン建材(株)営業担当へお問合せください。

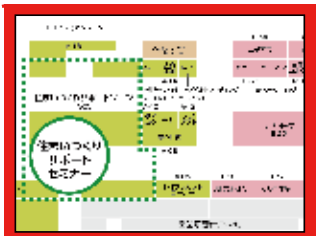
開催スケジュール（1月15日時点）

※都合により開催日および開催地を変更させていただく場合があります。あらかじめご了承ください。

開催日	都道府県	開催地	開催日	都道府県	開催地	開催日	都道府県	開催地
1月16日（土）	広島県	広島市	2月8日（月）	静岡県	静岡市	2月18日（木）	静岡県	浜松市
1月18日（月）	東京都	江東区	2月9日（火）	鳥取県	米子市	2月18日（木）	栃木県	宇都宮市
1月25日（月）	岡山県	岡山市	2月9日（火）	石川県	金沢市	2月18日（木）	青森県	八戸市
1月25日（月）	北海道	釧路市	2月9日（火）	神奈川県	横浜市	2月18日（木）	宮城県	仙台市
1月26日（火）	愛媛県	松山市	2月12日（金）	新潟県	長岡市	2月19日（金）	山梨県	甲府市
1月26日（火）	北海道	帯広市	2月15日（月）	北海道	旭川市	2月22日（月）	熊本県	熊本市
1月27日（水）	香川県	高松市	2月16日（火）	長崎県	西彼杵郡	2月23日（火）	鹿児島県	鹿児島市
1月27日（水）	愛知県	名古屋市	2月16日（火）	埼玉県	さいたま市	2月23日（火）	長野県	松本市
1月27日（水）	長野県	長野市	2月16日（火）	青森県	青森市	2月24日（水）	宮崎県	宮崎市
1月27日（水）	北海道	北見市	2月16日（火）	北海道	札幌市	2月24日（水）	秋田県	秋田市
1月28日（木）	茨城県	小美玉市	2月17日（水）	京都府	京都市	2月25日（木）	京都府	京都市
1月28日（木）	北海道	札幌市	2月17日（水）	群馬県	高崎市	2月25日（木）	山形県	山形市
2月5日（金）	新潟県	新潟市	2月17日（水）	岩手県	盛岡市	2月26日（金）	東京都	府中市
2月6日（土）	神奈川県	厚木市	2月17日（水）	北海道	函館市	2月26日（金）	福島県	いわき市
2月8日（月）	大阪府	大阪市	2月18日（木）	福岡県	福岡市			

～第35回ジャパン建材フェア～ 3/18(金)19(土)
住まいづくりサポートゾーン概要

今回のテーマは“ゼロ・エネルギー住宅”。工務店様にとって必要かつ使える情報をご提供します！！当日は是非お立ち寄りください。



①省エネ仕様躯体展示

断熱材比較や設備機器による
省エネ仕様の体感コーナー！

『ゼロ・エネルギー住宅』の提案に繋がるよう、参考手法等をご紹介します。

【省エネ仕様躯体の展示風景】



※第34回ジャパン建材フェア展示風景

②サポートサービスのご紹介

1.新サポートサービスのご紹介

『住宅設備メンテナンス保証』のサポートサービスが開始中！

2.〈住宅履歴の図書館〉大相談会

『OB物件攻略サービス』

～OB物件からのリフォーム受注をサポート～

『10年バックサービス』

～新築の「住宅履歴+点検」をバック提供～

3.サポートゾーンメンバー相談会



※第34回ジャパン建材フェア開催風景

③住まいづくりサポートセミナー

住宅業界の現状と今後に向けた
対応策をご紹介します！

平成28年度注目の補助事業や税制措置・法改正など多彩なミニセミナーを開催します。

【各種ミニセミナー】



※第34回ジャパン建材フェアミニセミナー風景

お客様と地元の工務店をつなぐ工務店紹介サイト



SUMU家

地元工務店でこだわりの住宅を建てよう

Supported by 株式会社ハウス・デポ・ジャパン

地元工務店様が実際に建てた

「住むための家」を紹介し、

「家を建てたいお施主様」と

「地元工務店様」をつなぐためのサイトです。

新築の情報はもちろん、リフォームの事例、

見学会などのイベント情報の掲載も可能です。 <http://sumuie.jp>

SUMU家 検索



株式会社 ハウス・デポ・ジャパン

〒136-0082 東京都江東区新木場1-7-22 新木場タワー5F

Tel.03-5534-3811 <http://www.housedepot.co.jp>

SUMU家 専用 Email: sumuie@housedepot.co.jp



ハウス・デポ・パートナーズは
工務店と家づくりを住宅ローンと各種保険で応援します。



長期固定金利住宅ローン
ハウス・デポ
【フラット35】



平成28年1月金利のお知らせ

融資率（9割以下） 返済期間15～20年
(返済回数179～239回)

年率 **1.27%**
(実質年率 1.518%)

●融資手数料：ご融資額の2.0%（税別）
最低融資手数料100,000円（税別）
保証料不要・団体保険料別・全期間固定金利

融資率（9割以下） 返済期間21～35年
(返済回数251～419回)

年率 **1.54%**
(実質年率 1.695%)

●融資手数料：ご融資額の2.0%（税別）
最低融資手数料100,000円（税別）
保証料不要・団体保険料別・全期間固定金利

融資率（9割超） 返済期間15～20年
(返済回数179～239回)

年率 **1.40%**
(実質年率 1.650%)

●融資手数料：ご融資額の2.0%（税別）
最低融資手数料100,000円（税別）
保証料不要・団体保険料別・全期間固定金利

融資率（9割超） 返済期間21～35年
(返済回数251～419回)

年率 **1.67%**
(実質年率 1.827%)

●融資手数料：ご融資額の2.0%（税別）
最低融資手数料100,000円（税別）
保証料不要・団体保険料別・全期間固定金利

●融資率は建設費・購入価額に対して、【フラット35】のお借入額のおおむねの割合をいいます。
●実質金利は借入金2,500万円、元利均等払い、返済20年（左欄）・35年（右欄）、繰上返済なしの場合を前提としています。
●最新の金利は弊社ホームページでご案内しています (<http://www.housedepot-p.co.jp/>)。
●当月中に資金実行する場合に上記金利が適用されます。
●金利は毎月改定されますのでご注意ください。
●フラット35は既存住宅ローンの「直轄」にもご利用いただけます。

お問合せ・お申込みは……



【三井物産・JKホールディングスグループ企業】

株式会社ハウス・デポ・パートナーズ

フリーダイヤル：0120-887-800

Mail:hdp@housedepot-p.co.jp

担当：営業部 伊東、北野、荒谷、田島、伊坂

貸金業登録番号
日本貸金業協会会員

東京都知事(3)第30759号
第005893号

転倒しにくく、万一転倒しても衝撃を軽減する床

衝撃吸収フロア ネクシオ

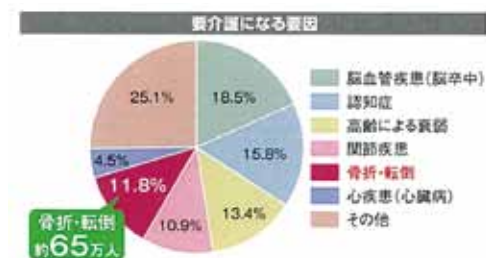
株式会社 ノダ

厚生労働省によると、年間に約 65 万人が「骨折・転倒」により要介護となっています。また、事故の発生場所は「居間」が 75.1%と飛び抜けており、居間での転倒を防止するだけで家庭内の不慮の事故を大きく減らすことができます。

【滑りにくさと優れた衝撃吸収性を備える床材】

表面の防滑加工で転倒自体を防止し、独自のクッション材で万一転倒した場合も衝撃を吸収します。

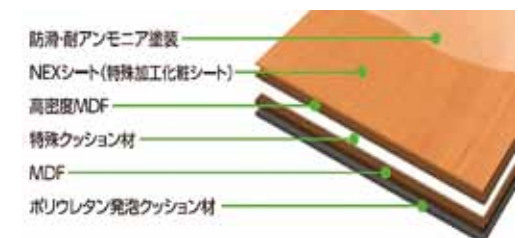
この 2 段階で転倒事故のリスクを抑え、安全性を確保することができます。



【安全性と快適性の両面を追求】

床材表面の滑りの評価試験と床の硬さ試験、双方の推奨値・規定をクリア。

床の硬さ試験の評価値は 80G 前後(推奨値 100G 以下)であり、柔らかすぎず、硬すぎず、歩行感は量に近い。



【介護環境の改善にも 各施設に続々採用】

高齢者施設はもちろん幼稚園や保育所、医療施設などでも続々と採用。

転倒による外傷発生率が大幅に軽減した他、特別養護老人ホームの職員からは、「足腰への負担が少なく、疲れにくくなった」との声も。

こうした背景を受け、床材では初の日本転倒予防学会の推奨品となっています。

高品位ヒノキの長繊維木毛＋高品位のポルトランドセメント

内装用細木繊維化粧板 レノウッド

竹村工業 株式会社

『レノウッド』は、高品位のヒノキを使用した長繊維木毛と、高品質のポルトランドセメントがプレスされたパネルです。

【安全・安心・快適空間を創る】

- 色・サイズともに柔軟性があるので、自由な設計、デザインを可能にします。
- 木毛セメント板に分類されている製品であり、吸音性に優れ、耳に優しい内装材として用途に応じた場所で使用できます。
- 耐火性に優れ、炎や有毒ガスが発生しません。
- ホルムアルデヒド規制対象外の安全・健康建材です。また、塗装タイプには、安全性の高い AEP（アクリルエマルジョンペイント）を使用しています。
- 室内の湿度が高くなると湿気を吸収し、湿度が低くなると湿気を放出する特性があるので、結露を抑制するだけでなく、乾燥を適度に抑えます。



- 特別な薬品処理をしなくても、耐朽・耐蟻性能があります。
- ヒノキウッドウール（ヒノキ木毛）を使用しているので消臭効果が期待できます。



【安全性の高い材質を使用】

- 原材料は国産間伐材ヒノキ、セメント、水のみ
- 結合材にはセメント（ポルトランドセメント）を使用し、接着剤等による揮発性有機化合物（VOC）に対する安全性を確保

Bulls 情報

第 35 回ジャパン建材フェア Bulls コーナー情報

ブルズパック コーナー

Bulls 商品 2 点を 1 パックとして、大変お買い得な価格で販売させていただきます。展示会当日の数量限定、早い者勝ち、売り切れ御免!! です。是非お立ち寄り下さい。



Demonstration コーナー

商品の展示だけでは分らない施工方法や特徴を『実演』を交えて説明致します。各商品ブースにお立ち寄りの上、お時間の許す限りご覧下さい。



シマウマ・コレクション コーナー

「どうしたら、もっと家が片付くの!」ママたちのお悩みから生まれた人気のシステム収納をご覧になりませんか?



アンティーク コーナー

アンティーク空間を展示しております。フルオーダーで味のあるフローリングや壁材を、住宅は勿論、店舗にも採用頂けます。また、おしゃれな作業着も販売しています。

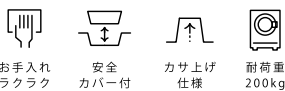


イチ押し Bulls

64高上げ一体タイプ
BESTRAY ベストレイ

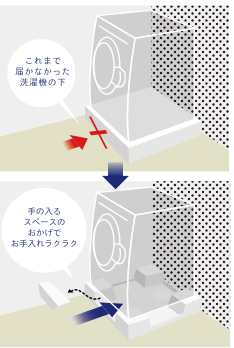
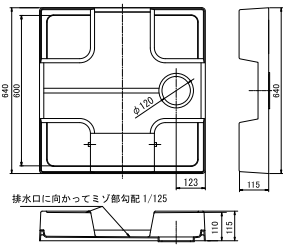
高さがあるから、お手入れも簡単で、使い勝手も向上します。

- 特徴
- ・カバー付きで安全性も意匠性も◎!
 - ・お手入れもラクラク



※写真と実際の商品が異なる場合がございます。予めご了承ください。

寸法図 標準セット：防水パン(1台)、排水トラップ(1コ)、カバー(1コ)



かん い き み つ が た
簡易気密型 天井点検口

室内と天井裏の通気をシャットダウンする、密閉性に優れた天井ハッチ

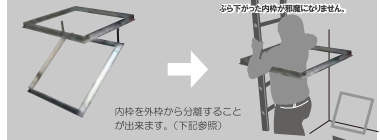
見た目スッキリ
シンプルデザインフレーム。



1- 作業時に、怪我から手を守るR加工 -



2- 点検作業を容易に実現する、内枠取り外し機構 -



3- 各部材の接触面には全てパッキンを採用 -



取り外し操作

- ① コインなどを使用して、外枠と内枠のロックを解除します。
→2箇所のアームが枠を支えます。
- ② 外枠と固定しているアーム2本を逆のようにミソに沿って誘導することで簡単に取り外すことが出来ます。



防虫ベンツSL

スライスして3つのサイズに対応!
通気を確保しつつ確実に防虫する!

【効果】ハチやカメムシ、コウモリなどの通気層への浸入を防ぎます

【防虫性能】

【通気性能】

規格寸法
(厚) 21mm ×
(高) 25mm ×
(長) 1220mm

有効開口面積
[21mm] 209cm²/本
[18mm] 179cm²/本
[15mm] 149cm²/本

【使用方法】
(21mm) そのまま使用
(18mm) 片側の通気材を剥がす
(15mm) 両側の通気材を剥がす

スライス機能

壁下通気層 専用部材

21mm 18mm 15mm

スライス

鉄製
REカウンターブラケット

補強の出っ張りが少ないスマートなデザイン。
安全耐荷重100kgのカウンターブラケット

スマートなデザインなので設置場所につきり取ります。
補強の出っ張りが少ないのでスペースを有効に使うことができます。
4サイズをご用意。
用途: キッチンカウンター、洗面カウンター、棚受、陳列棚など

LY-901 LY-902 LY-903 LY-904

鉄製/ステンレス製
カウンターブラケット

ゆるやかなRの付いた補強がお洒落な
カウンターブラケット

用途: キッチンカウンター、洗面カウンター、棚受、陳列棚など

LY-834 LY-833 LY-832 LS-734 LS-733 LS-732 LS-731

鉄製
カウンターアングル

カウンターブラケットとの使い分け、
組み合わせて使えるカウンターアングル

設置条件により、カウンターブラケットが使用できない場合や
コーナー壁に設置する場合にもご使用頂けます。
カウンターブラケットの補助としてご使用下さい。
用途: キッチンカウンター、洗面カウンター、棚受、陳列棚など

めざせ
地域活性隊

ジャパン建材
西日本グループ
中国営業部
鳥取営業所



所長 岡崎 豊

平素はお得意先様をはじめ仕入先様には、格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

鳥取営業所は、営業2名、業務スタッフ2名、配送1名の総勢5名で、鳥取県全域をカバーし、少数精鋭で日々活動しております。

これからも所員一同「元気で、明るく」励んで参る所存で御座いますので、今後とも、ご指導、ご鞭撻の程、よろしくお願い申し上げます。

スナバも、スタバも、ジャパンもあります!!

鳥取県は、中国地方の日本海側のいわゆる山陰地方の東側にあり、東は兵庫県、西は島根県、南は広島県・岡山県に囲まれており、冬場は特に天候が変わりやすく、「弁当忘れても傘忘れるな」との格言もあり、降雨や時には豪雪になりやすい地域です。

2013年に、平井伸治知事の「スタバはないけど、日本一のスナバ（鳥取砂丘）はある」の発言で大きな話題となったように、自然が豊かで風光明媚な観光地が多く見られます。

鳥取県東部に位置する、鳥取砂丘は面積は日本一ではないのですが、最大高低差90mもあり、そのすり鉢の斜面に出来る「風紋」がすばらしいです。また、観光用のラクダにも乗ることが出来、近くの「砂の博物館」では、精巧で迫力のある砂の彫刻作品を見ることが出来ます。（因みに、現在は次の砂像の制作中で入れません。4月16日から、南米編が始まります。）



ラクダが待ってる鳥取砂丘



雪をかぶった冬の大山

また、鳥取県西部に位置し、伯耆富士とも呼ばれる大山（だいせん）は、四季折々でその姿を変え、雄大な自然を感じさせ、人々の目を楽しませてくれます。この自然は、観光としてだけでなく、東西につながる海岸線は、豊富な海産物を育み、夏は岩ガキ、冬は松葉ガニに代表され、とにかく美味しいもの盛りだくさんです。ご当地グルメでお勧めなのは、牛の骨でだしをとる、「牛骨ラーメン」です。全国的にはめずらしいと思いますが、香ばしい香りと、ほんのり甘い、どこか懐かしい味です!!

さらに、観光名所として有名なのが、妖怪の世界観をテーマにした「水木しげるロード」、漫画家の青山剛昌氏の資料館である「青山剛昌ふるさと館」です。そして、空の入り口のそれぞれの空港を、東部は「鳥取砂丘コナン空港」、西部は「米子鬼太郎空港」と名前を変え、観光もグルメも、大人もお子様連れでも、めいっぱい楽しめます。鬼太郎やコナン君が皆様をお待ちしております。

合板 天気図



晴れ

ジャパン建材 合板部
部長 畑野 昌俊

新設住宅着工数

2015年11月度は79,697戸（前年同月比101.7%）と前月の減少から増加へ転じた。その内、木造住宅は47,485戸で9か月連続の増加となっており全体に占める木造住宅の割合も59.6%と昨年では一番比率の高い月となった。季節調整済年率換算値は886,000戸で前月比2.8%の増加。利用関係別では持家が25,310戸（前年同月比103.5%）で7か月連続増加、貸家は33,505戸（同比102.6%）で再び増加となり、分譲は20,503戸（同比102.5%）で3か月ぶりに増加へ転じた。

国内合板

国内針葉樹合板については、ここ数か月間、合板統計によると生産量を上回る出荷量の実績となっており、メーカー在荷量は出荷量比で0.5か月程度まで減少している。よって各メーカーとも受注残を抱え、なかなか納期が付かない状況が続いている。

2月以降は旺盛であった直需・プレカット業者向けも落ち着くと思われるので、メーカー・流通業者共に今後の着工数増加に備えて、多めに在庫するなどの対応策を取ることが重要と考える。

輸入合板

首都圏中心に港頭在庫が多い状況が続いていたことで、輸入業者による在庫削減のための安値販売が散見された。徐々に入荷量も減少していくことが見込まれており、時間の経過とともに在庫の調整が付いてくると思われ、それにより弱含んだ相場は徐々に解消に向かっていくと考える。

全体として合板出荷量は旺盛であり、晴れの状態が続くと思われる。

JK お客様
センター

お聞かせ下さい。お客様の声！
フリーダイヤル 0120 (563) 568 受付時間：平日 8：30～17：20
土曜日・日曜日・祝日・年末年始・夏季休暇は、受付を休ませていただきます。

企画
発行

ジャパン建材株式会社 JK 情報センター

〒136-8405 東京都江東区新木場 1-7-22
TEL:03-5534-3711（代） FAX:03-5534-3855（代）
URL: <http://www.jkenzai.co.jp>